全調政連 ニュース　No. 2022-08

Ｒ４．９．５　　発行責任者　幹事長　佐々木 健

全国土地家屋調査士政治連盟ホームページ https://zenchoseiren.net

豊田俊郎国土交通副大臣、門山宏哲法務副大臣を表敬訪問いたしました（その1）

日　時　令和4年９月２日(金)10:00～10:50

場　所　国土交通省　副大臣室

岸田改造内閣に土地家屋調査士業務の苦楽をともに肌で感じあう二人の副大臣が誕生しています。

お一方は言わずもがな、土地家屋調査士から身を立て千葉県議、八千代市長、国政へ、参議院議員2期目で国土交通省副大臣豊田俊郎先生です。

この日は、日調連岡田会長を筆頭に全調政連椎名会長、全公連榊原会長の３団体役員が勢ぞろい、地元千葉県から調査士会秋山会長、遠藤政連会長、内山公嘱理事長にともする役員が集合、総勢16名大挙しての訪問となりました。

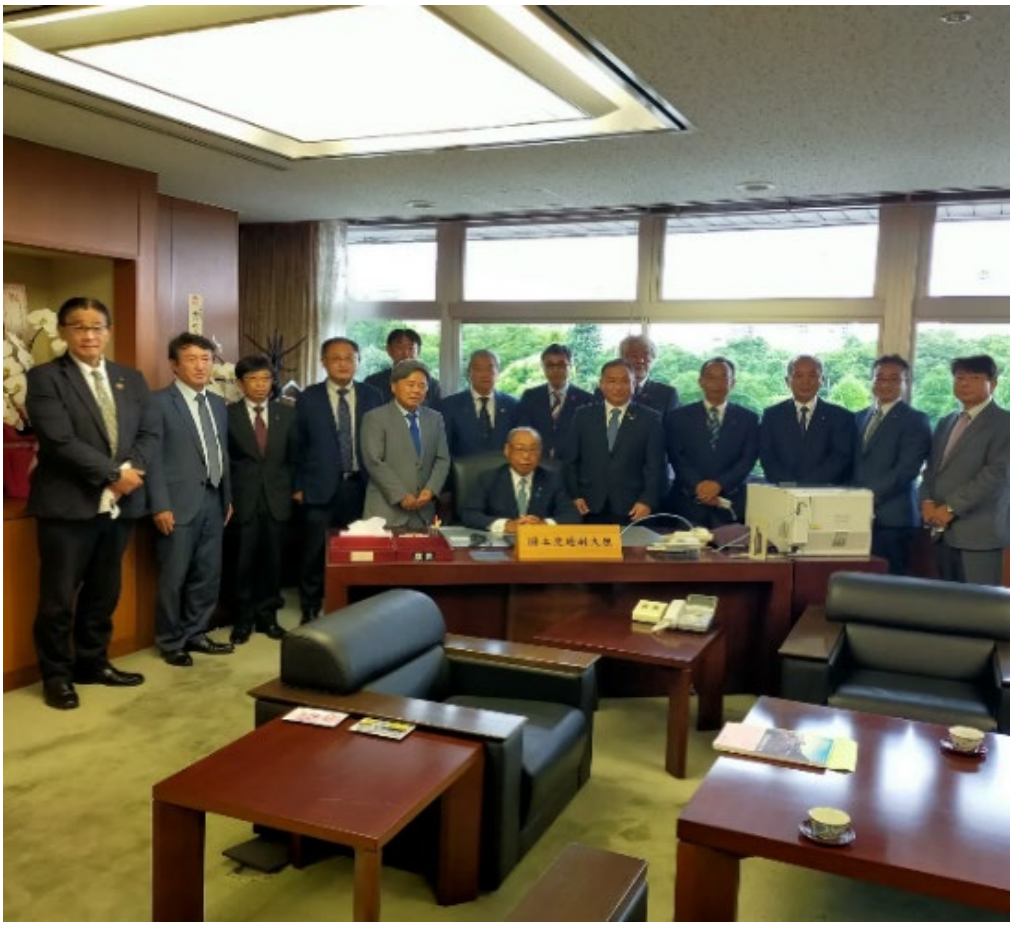
本省の副大臣室もこの人数では会議用椅子を寄せて車座になっての懇談です。開口一番岡田会長から土地家屋調査士全会員を代表して、満願叶ったお祝いの賛辞。所有者不明土地問題、狭小道路の改善をテーマに勉強会を積み重ねた椎名会長、ともに連携を厚くする榊原会長には、これまでの事業柱が国交省の政策と重なり満面の笑顔であふれていました。

副大臣の身近で若手調査士の勉強会があり、国会前にある水準原点・電子

基準点の見学が取り上げられたことで国土地理院からは、地図に精通した副大臣を迎えたことで和やかにこの報告があったそうです。将来の自動運転もしかり、地籍調査の普及拡大など、地図関連の整備は国の重要な政策となっています。研鑽を重ねる土地家屋調査士に大きな期待が込められました。

　会員間の親睦に触れて、会員が一枚岩で会の運営を支え会員の総意が会を通して発信される、至って地道な活動こそ、政策要望を実現する唯一の近道であることも教示いただきました。諸先輩たちが築いてきた軌跡が、連合会の土台となって今日の日があることに感謝の意を噛みしめる岡田会長の意、良き訪問となりました　。

（全調政連会計担当　久保田）



（前列中央）豊田国土交通副大臣